

Minami Kyushu University Syllabus

| シラバス年度 | 2025年度 | 開講キャンパス | 都城キャンパス | 開設学科 | 子ども教育学科 | | | | |
|----------------|---|---------|---------|------|---------|--------|---|----------------|---|
| 科目名称 | 音楽 | | | | 授業形態 | 講義 | | | |
| 科目コード | 750086 | 単位数 | 2単位 | 配当学年 | 1 | 実務経験教員 | ○ | アクティブ ラーニング | ○ |
| 担当教員名 | 早川 純子、東 由子 | | | | | | | ICT活 用 | |
| 授業概要 | この授業の目的は、初等教育における音楽指導に必要な基礎的な理論と技能を身につけることです。子どもたちが音楽表現の楽しさを実感し、音楽経験が生活に与える潤いを知り、聴く力を高めることは、非常に重要な要素です。子どもたちの音楽に対する興味と能力を育むために、授業では「楽典」を通して楽譜の読み方を習得し、「ソルフェージュ」によって読譜や視唱などの基礎技能を養います。また、「歌唱活動」では、歌唱共通教材を中心に基礎的な歌唱法を身につけます。楽典・ソルフェージュ（早川）と歌唱（東）の授業は隔週で交互に行われ、ワークショップ形式で実践的に学びます。 | | | | | | | | |
| 関連する科目 | 履修後は「ピアノ実技I（基礎）」および「ピアノ実技II（応用）」を受講し、楽譜の読み方やピアノ実技の基礎的な技能を習得することが望ましい。 | | | | | | | | |
| 授業の進め方 と方法 | 楽典・ソルフェージュ（早川）と歌唱（東）の授業は、実践的なワークショップ形式で交互に行われるが、各授業は以下の手順で進められる。 【楽典・ソルフェージュ】前半で楽譜の読み方についてテキストを用いて学習し、後半では配布資料を使ってソルフェージュの実践を行う。 【歌唱】歌唱共通教材を用いてグループごと、または一人ずつでの歌唱指導が行われる。終盤ではグループでの自主学習も行う。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第1回】 | 【楽典・ソルフェージュ①】 譜表と音名・クレ読み、新曲視唱 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第2回】 | 【歌唱①】 第1学年 歌唱共通教材 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第3回】 | 【楽典・ソルフェージュ②】 音符と休符・クレ読み、新曲視唱 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第4回】 | 【歌唱②】 第2学年 歌唱共通教材 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第5回】 | 【楽典・ソルフェージュ③】 拍子とリズム・クレ読み、リズム打ち | | | | | | | | |
| 授業計画 【第6回】 | 【歌唱③】 第3学年 歌唱共通教材 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第7回】 | 【楽典・ソルフェージュ④】 音程・クレ読み、新曲視唱 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第8回】 | 【歌唱④】 第4学年 歌唱共通教材 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第9回】 | 【楽典・ソルフェージュ⑤】 音階と調・クレ読み、新曲視唱 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第10回】 | 【歌唱⑤】 第5学年 歌唱共通教材 | | | | | | | | |

| | |
|---------------------|---|
| 授業計画 【第11回】 | 【楽典・ソルフェージュ⑥】 省略記号・クレ読み、聴音 |
| 授業計画 【第12回】 | 【歌唱⑥】 第6学年 歌唱共通教材 |
| 授業計画 【第13回】 | 【楽典・ソルフェージュ⑦】 クレ読み試験 |
| 授業計画 【第14回】 | 【歌唱⑦】 歌唱共通教材復習および「君が代」歌唱 |
| 授業計画 【第15回】 | 【歌唱】歌唱実技試験 |
| 授業の到達目標 | 1. 楽典の習得により、読譜や記譜に必要な音楽の諸要素を理解する。 2. ソルフェージュの実践により、読譜力を向上させる。 3. 小学校の歌唱共通教材を正確に演奏し、正しい発声と明瞭な発音による歌唱技術の基礎を習得する。 * 上記の各領域ごとに試験を課す。 |
| 学位授与の方針 (DP)との関連 | 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) |
| 授業時間外学習【予習】 | 楽典では、テキストに加えて図書やインターネットを活用し、事前学習を行うことが求められる。 ソルフェージュにおけるクレ読み（音名を一定のテンポで読み上げる練習）は、読譜力を高めるために毎日数分でも練習を重ねることが重要である。 また、発声練習も日々欠かさず行うことが大切である。（45分程度） |
| 授業時間外学習【復習】 | ソルフェージュにおいては、クレ読みの練習を毎日数分間でも実践し、また発声の練習も日常的に行うことが重要である。 楽典では、特に「音程」や「調」の復習を十分に行う必要がある。（45分程度） |
| 課題に対する フィードバック | テストや課題は評価後に返却し、解説を行う。 |
| 評価方法・基準 | 受講態度：30%、クレ読み試験：10%、歌唱実技試験：30%、楽典試験：30% |
| テキスト | 全国大学音楽教育学会 九州地区学会 編 『保育士・幼稚園教諭・小学校教諭養成のための ピアノテキスト―楽典・身体表現教材 付』 (カワイ出版) |
| 参考書 | 初等科音楽教育研究会 『最新 初等科音楽教育法[改訂版] 小学校教員養成課程用』（音楽之友社） |
| 備考 | |